

船舶事故等調査報告書

平成21年6月25日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009長第36号	
事故等名	引船葉港丸運航不能(機関損傷)	
発生年月日時刻	平成21年1月15日13時30分ごろ	
発生場所	長崎県佐世保重工業蛇島南岸壁付近 同県佐世保市所在赤崎岳山頂(240m)から真方位039° 1,080m付近 (概位 北緯33° 09.5′ 東経129° 42.4′)	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年3月11日長崎・地方事故調査官が海難報告書を入手、3月16日船舶所有者より口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報		
船種・船名・総トン数	引船 葉港丸 183トン	
船舶番号	127860	
船舶所有者等	佐世保マリン・アンド・ポートサービス株式会社	
乗組員等に関する情報	機関長 四級海技士(機関)	
負傷者	なし	
損傷	左舷主機6番シリンダのライナー、ピストン、ピストンピン、ピストンリング及び連接棒が損傷	
事故等の経過	本船は、佐世保重工業株式会社構内岸壁に係留中の新造船の係留運転支援のため、同岸壁の南方で待機中、船長が主機関操作ハンドルを操作したところ、右舷主機関の回転上昇に違和感を覚えたため後方を見たところ、平成21年1月15日13時30分ごろ、機関室上部窓及び通風塔から大量の白煙が噴出するのを認め、機関緊急停止ボタンで直ちに両舷の主機を停止し、その後、無線を聞きつけた僚船に補助されて、えい船岸壁に着岸した。	
分析	気象・海象の関与 なし 乗組員等の関与 なし 船体・機関等の関与 あり 判明した事項の解析 本船は、燃料の噴射状態が悪くなったことから、ピストンリングの溝に燃えかすが堆積してピストンリングが固着し、燃焼ガスがクランク室に吹き抜けたことによって発生した可能性が考えられる。	
原因	本インシデントは、本船が係留運転支援中、左舷側主機のピストンリングが固着したため、燃焼ガスがクランク室に吹き抜け、各部が焼損したことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	